

巻 頭 言

日本貿易学会会長 秋 山 憲 治

日本貿易学会は、1961年9月に設立され、2011年には50周年を迎えることとなります。学会50周年をお祝いする記念事業の1つとして『日本貿易学会創設と組織改革の歩み—学会50周年記念—』が刊行されます。本年5月末に近畿大学において、第49回全国大会が開催されますので、その機会に会員の皆様に配布できるようにと準備を進めてまいりました。また、来年の第50回全国大会では、記念シンポジウムなどの記念事業を計画しております。

本学会は、日本の経済成長と軌を一にして発展してきました。1960～70年代に貿易の自由化や拡大が大きく進展し、日本も貿易立国として高度経済成長を実現してまいりました。しかし、この時期に本学会は、学会運営を巡り大きな試練を迎えましたが、先輩諸先生方のご努力により組織改革が実現されました。その経緯は本書にも記されておりますが、その経験をもとに現在の民主的な運営基盤や活発な研究活動が実現していると心する次第です。

日本貿易学会は、国際貿易の理論・政策・歴史・実務を総合的に研究しておりますが、貿易に関連する金融・保険・物流・国際経営・国際法など関連分野も包摂する学際的な研究集団です。会員には大学や研究所の研究者ばかりでなく実務に詳しい企業人も多く、現実に基づく議論を展開しています。多様な視点より「理論と実践の融合化」をはかり、総合的な研究ができる強みを持ち、今後の研究の発展が期待できます。

学会50周年を迎えるにあたり、学会創設期の時代背景や貿易研究、学会運営の問題点など原点に立ち戻り、日本貿易学会の発展の糧にするのも意義深いものと思われれます。現在、百年に一度といわれる世界経済の危機のなかで、貿易学会の研究課題は重要なテーマと考えられるので、活発な研究報告や充実した年報の発行など今後の日本貿易学会の発展を祈念いたしております。

本書を刊行するにあたり、多くの先生方のご協力をいただいております。長年にわたりご苦勞いただいた学会史編纂委員会委員の先生方、また、論文やエッセイを寄稿して下さった方々、座談会やインタビューに応じて下さった方々、貴重な資料を提供して下さった方々など、ご苦勞、ご貢献をいただいたすべての先生方々に、紙幅の関係上、失礼ながらお名前を挙げることはできませんが、心から謝意を表します。最後に、学会史編纂委員会委員長を長い間勤めご苦勞された高崎商科大学教授の吉岡秀輝先生にお礼を申し上げます。

2009年3月